

第80回国民スポーツ大会冬季大会

スケート・アイスホッケー競技会

我らかく戦う



【期日】 2026年1月31日(土)～2月8日(日)

【会場】 青森県八戸市、三沢市



公益財団法人北海道スポーツ協会

我らかく戦う / 第80回国民スポーツ大会冬季大会 スケート・アイスホッケー競技会

No.	競技名	種別	評価	予想順位	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項、話題など
1	スピードスケート	成年男子	5	村上 右磨(500m)2位 久保 向希(1000m)2位 山本 悠乃(1000m)4位 宮坂 大地(1500m)2位 笠原 光太郎(5000m)2位 2000mR 2位	長野県、開催県の青森県との争いになる。	村上 右磨(2024/25ワールドカップ日本代表) 笠原 光太郎(2024/25ワールドカップ日本代表)	久保 向希・杏奈・颯大が3兄弟で出場
		成年女子	4	久保 杏奈(1000m)1位 阿良 美希(500m)2位 山根 佳子(500m)3位	長距離では厳しい戦いになることが予想されるが、全員でカバーしながら戦う。	久保 杏奈(全日本選手権大会500m4位) 阿良 美希(第96回日本学生氷上競技選手権大会 女子2000mR 優勝、2024-25全日本選抜スピードスケート競技会・女子500m 優勝) 山根 佳子	
		少年男子	5	高橋 大悟(500m)2位 軍司 冬馬(500m)1位、(1000m)2位 久保 颯大(1000m)1位、(1500m)2位 長岡 歩太(1500m)3位 堀川 雄大(5000m)3位 坂野 誠道(10000m) 佐藤 将太(10000m)3位	全ての距離において2名ずつ表彰台を狙える選手が揃っているが、中・長距離においては、シニアレベルの長野選手2名に苦戦を強いられる展開が予想される。	高橋 大悟(ジュニアW杯第1戦500m2位) 軍司 冬馬(ジュニアW杯第1戦500m3位) 久保 颯大(2024ユースオリンピック日本代表)	久保 颯大 昨年度IH・1000m優勝、1500m優勝 軍司 冬馬 昨年度IH・500m2位
		少年女子	5	酒井 夏羽(500m)1位 笹渕 和花(500m)2位 奥秋 静子(1000m)2位、(1500m)3位 2000mR 1位	普段行わないシングルトラックレースとなるため、厳しい戦いが予想されるが、高校トップクラスが集まっているため、北海道のために力を合わせて頑張りたい。	奥秋 静子(今年度ワールドカップジュニア日本代表・500m優勝)	奥秋 静子 昨年度IH・500m優勝 笹渕 和花 昨年度IH・500m2位、国スポ500m優勝
2	ショートトラック	少年男子	3		昨シーズン日韓中交流会やシニア大会初となる国スポ岡山大会に出場してから、今シーズンはシニア選手と戦う大会に出場してきた。今大会では、大会で対戦経験のある本州勢のジュニア選手との健闘できる力を備えているため、予選・準々決勝と進出できるか期待したい。	島田 創史	
		少年女子	3			濱田 ひまり	
3	フィギュアスケート	成年男子	3	8位			
		成年女子	3	8位	今シーズンで大学卒業の2人。大人っぽい素敵な滑りで団体8位を目指す。		
		少年男子	4	8位	年々、男子も競技人口が増え、出場県が多くなっており、予選会が行われている。また、レベルも上がり、1つのミスでフリーに進めなくなる可能性があるがあるので、ショートではノーミス、フリーではレベルの取りこぼしのないよう演技することを徹底し、入賞を目指す。	武田 結仁(全日本ジュニア選手権大会10位、全日本選手権大会23位)	
		少年女子	3	8位	全日本ジュニア参加の岩本選手はショートをミスなく滑り、フリーでの上位進出を望める。 国スポ初出場の金本選手は伸びやかな滑りで楽しく滑り切ってもらいたい。		
4	アイスホッケー	成年男子	5	1位	強豪チームには運動量の多い大学生が出場することが見込まれており、運動量の部分では苦戦するかもしれないが、選手の経験と技術を活かし戦いたい。	芳賀 陽介(王子コンテナー(株)釧路工場) 阿部 魁(新和産業(株)) 徳田 滉也(㈱ダイナックス)	矢島親子 父 矢島 敏幸(コーチ) 子 矢島 翔吾(選手)
		少年男子	5	1位	極力失点をなくして圧倒的に優勝する。	高嶋 葉多(駒澤大学附属苫小牧高等学校)	